



左からレバノン、カメルーン、ネパールの女性たち。Photo: UN Women/Lauren Rooney, Ryan Brown, Narendra Shrestha。
15周年を機会に国連ウィメン日本協会のイメージビジュアルとして、各世代、各地域の女性たちの笑顔を集めました。

UN Womenは設立15周年を迎えました！

皆さまに支えられて、UN Women、そして私たち国連ウィメン日本協会は、

2025年7月2日、設立15周年を迎えました。

感謝を込めて、ニュースレター、ホームページをリニューアルいたしました。

より分かりやすく、より身近に、そして何よりも、

UN Womenが皆さまとともに実現した

女性たちの笑顔をしっかりご報告してまいります。

UN Women国内協会会議 及び第69回CSWへの参加報告

今年のCSW69は、北京+30がテーマであるため、例年より参加者が多かった。

私は3月10日から始まったCSW69に参加するとともに、会期中の12-14日にUN Womenが開催した国内協会の会議に参加して16日に帰国した。

開会式における国連事務総長挨拶では、30年間に女子教育の改善などプラスの面もあったが、マイナス面が多い、特にインターネットによる女性に対する攻撃、ポルノ情報のたれながし、紛争下における女性に対する性暴力などが問題とされた。

開会式直後に合意した政治宣言は北京行動綱領に沿って、頑張るべきだという内容。

UN Womenが開催した国内協会会議は13日の日本政府とNGOのサイドイベントと重なったが、UN Womenの会議を優先した。サイドイベントは後でUN TVを視聴。

3月10日に、UN Womenのオフィスで、アフリカとカリブ諸国におけるWPS(女性、平和、安全保障)イベントに参加。

アフリカでは、UN Womenの資金的支援により、地域の1325行動計画を策定。国家と草の根のNGOも含めて市民と協力。女性の政策決定への参加を進めてWPSを実施。

African UnionのConvention on violence against womenが昨年成立。

ハイチでは、「2024年3月19日治安が崩壊し暴力事件が相次いでいる首都ポルトープランスで、危機的な状況が一段と悪化している。女性に対する性暴力などが頻発している」という報告があった。現在、無政府状態で、首都だけでなく、ハイチ全体で暴力事件が起きている。武装集団(ギャング)による殺人、暴力、誘拐、政府機関等公共施設に対する破壊行為。女性に対する性暴力も多発。政府は暫定大統領評議会を設立した上で運営されているが、ハイチ国民議会は上下院ともに解散したまま。

この数年(2018～2019年以降)ハイチの女性達は危機的状況にあり、100万人が住む場所を移動させられた。性暴力だけでなく、財政的にも極めて厳しい。

UN Women担当者は、ハイチにおける女性に対す

る暴力の根本的な理由の調査を実施と報告。(ハイチには日本政府は日本人の渡航禁止。ハイチ在住の日本人には至急帰国命令。)個人的にハイチのことは全く知らなかったのも、驚きしかなかった。

3月14日Standing Committeeが開催されたが、関係者のみ参加だったため、北京行動綱領を取りまとめたリクアナンさんが呼びかけた北京会議事務局長などによる「北京会議を踏まえて前に進もう」というイベントに参加。(写真)



以下はUN Women事務局で開催された国内協会に対するUN Women本部内職員の説明の一部。ガザやウクライナなどのUN Womenスタッフの説明および質疑応答などである。

日本協会は、ウクライナへの侵攻が始まって間もなく、それまでにない高額な寄付があり、国連ウィメンウクライナ事務所に送っており、お礼を言われた。

UN Womenは2024年に北京+30に関する調査を実施し報告書を出した。4分の1の国がこの30年間にバックラッシュがあった。

これまでになく、世界各地で紛争が起こっている状況で、WPSを進めることで紛争解決に結びつくと思える。



UN Women国内委員会のMarch Forward (前進あるのみ)に参加して

UN WomenのMarch Forwardのアイデアが最初に13の国内委員会に明かされたのは、2024年10月にフィンランドで開催されたUN Women国内委員会年次総会の場でした。提案したのはアイスランド国内委員会。初めの名称はSolidarity March（連帯マーチ）で、13か国の国内委員会（オーストラリア、オーストリア、フィンランド、フランス、ドイツ、アイスランド、イタリア、日本、オランダ、ニュージーランド、スペイン、スウェーデン、イギリス）が一斉に3月8日の女性デーに世界を一周して、ジェンダー平等を訴え、マーチをするというものでした。ただのマーチでなく、他と違った何か目立つたことができないかということで「後ろ歩き」が考え出されました。1995年の北京女性会議から30年にあたることから、30歩後ろに歩くというアイデアが出されたのです。これは、私たち女性が、後ろ歩きと同じように極めて不自然なジェンダー不平等の状況に置かれていることを象徴しています。だから2025年の3月8日からは、人間にとって一番自然な前に向かって歩こうというわけです。

アイデアは斬新で、有名人を巻き込んで、例えばメリル・ストリープなどがオスカーのレッドカーペットの上を後ろ歩きしてもらったらどんなに目立つだろうなどと、国内委員会ではおおいに盛り上がりました。でもこれを実際に行動に移していくのは簡単ではありませんでした。同じ国内委員会間でも財政や人員に大きな開きがあり、同じマーチを同じように実施するのは難しい状況でした。国内委員会の中にはバーチャルでのマーチを選んだところもありますし、日本協会のように他の大きなマーチに参加したところもあります。幸い規模の大きいアイスランド国内委員会が大きな広告会社を雇い、ロゴや写真を用意してくれました。週1回オンラインのミーティングを重ね、進捗状況を報告しあいました。

日本協会は、3月8日の「国際女性デー」Women's March Tokyo 2025に参加しました。皆、UN WomenのブルーのTシャツを着て、アイスランド国内委員会が提供してくれた写真をプラカードにして掲げました。私たち、ブルーの国連カラー集団が、スクランブル交差点を通過すると、多くの人々が写真を撮ったり、手を振っ

たりしてくれました。皆で、暴力反対、戦争反対、人権守れ、尊厳守れ、などのシュプレヒコールを叫びました。主催者の発表によれば、参加者は、800人でした。後ろ歩きは当日実施するのが難しかったので、3月1日に少人数で行いました。この様子はアイスランド国内委員会に送られ、グローバルなMarch Forwardの一部となります。

他の国内委員会の様子も報告されています。エミリー・イン・パリの主演俳優サミュエル・アーノルドのような有名な俳優、セレス・バーバーのような講演者、アイスランドの外務大臣などのような国家のリーダー、さらには、メアリー・ロビンソン元アイルランド大統領、サム・モスティン・オーストラリア連邦総督、このほかにもインフルエンサー、アーティスト、アスリート、スポーツグループ、探検隊、ワーキングコミュニティ、教会指導者などがこのキャンペーンに参加しました。



協力協定団体の活動

国連ウィメン日本協会 北九州

国連ウィメン日本協会北九州設立30周年記念講演会

2024年12月8日



(国連ウィメン日本協会北九州設立30周年記念講演会の様子)

国連ウィメン日本協会北九州設立30周年を記念し講演会を開催しました。最初に国連ウィメン日本協会理事長の橋本ヒロ子さんから国連ウィメンの世界にまたがる幅広い活動についてお話しがありました。その後、昭和女子大学総長 坂東眞理子さんから「教育における女性のエンパワメント」と題し、変わる女性の働き方やこれから求められる能力について分かりやすくお話しいただきました。これからのジェンダー平等社会を展望して、参加者一同、お二人から元気をいただきました。

事務局 福岡賢司

国連ウィメン日本協会 大阪

2025年4月29日、国連ウィメン日本協会大阪とクレオ大阪中央の共催で「戦後80年 平和のために女性の声を今こそ」を開催しました。第1部では、朝日新聞記者・花房吾早子さんをお招きし、基調講演をおこないました。記者としての取材経験をもとに、ジェンダーの視点に立って平和の実現に取り組む事例が紹介されました。第2部

では三輪敦子会長と花房記者によるトークセッションが行われ、国連安保理決議1325号に基づく「女性・平和・安全保障」の現状と課題について報告がありました。特に、女性の実質的な意思決定への参加の必要性や、ノルウェーの平和学者ヨハン・ガルトゥングの「積極的平和」という概念を紹介し、非暴力と平等に基づく社会の構築が強調されました。参加者同士の交流も深まり、平和とジェンダーについて考える意義深い時間となりました。

事務局 長栄くみ子



トークセッションの様子

国連ウィメン日本協会 東京

2月17日の午後、2025年度定例総会を開催、総会終了後に同会場において創立25周年記念行事として記念展示・交流会を開催しました。2000年にユニフェム東京として発足、2011年には国連改革により会の名称も変わりましたが、一貫して途上国支援のための取組みを行ってきました。展示室には25年間に発行したニューズレター全号や懐かしいバザーグッズ等を展示、また交流会においてはPPTでこれまでの活動を振り返り、出席された発足当時の先輩方からのお話もあり、これまでの活動を総括する良い機会となりました。これまでの歴史の重みを感じつつ、引き続き30周年を目指して活動を継続できるようにと願っています。

今年度の活動としては、9月22日にインド映画「マダム イン ニューヨーク」の上映会を行い、「自立して生きるとは？」について考えます。

副会長 阿部幸子



PPTで25年間の活動を振り返った交流会の様子

国連ウィメン日本協会 多摩

講演会 「紛争地域の人たちの今 私たちにできること」

講師 橋本ヒロ子氏 (国連ウィメン日本協会 理事長)

場所: 7月6日 (日) 午後2時 さくらホール (昭島市)

会員の内部研修を兼ねながら周りの人たちにも国連ウィメン日本協会の活動を知ってもらおうと橋本理事長に講演をお願いしました。

企画したのが春先だったので、7月がこんなに暑くなるとは想像もつかず、不安でしたが、「チラシを見て関心がありました」と男性や一般の方の参加もありました。

開発途上国では女性・子どもの命、人権が脅かされて来たこと。「紛争地域では病院までもが標的になっています。」と現実の厳しさを話してくださいました。

UN Womenでは、被害の実態調査を行い子ども・女性支援に必要な物・資金を集め支援をしています。アメリカが支援金を出さなくなり資金不足のため寄付金を集めることに力を入れているとのこと。

広報担当 高橋由美



終了後に講師(中央)を囲んで多摩の会員と集合写真を撮りました。

「国際遺贈寄付の日」によせて

お金持ちのすること？

9月13日は「国際遺贈寄付の日」でした。もしかしたらテレビや新聞で目にした方もいらっしゃるかもしれません。

「遺贈寄付? お金持ちのすることね」、「老後の資金が先よ」とスルーされがちですが、近年手続きのハードルが下がり、メリットも多い制度です。少額でもよいし、亡くなった後のことなので老後の心配も要りません。何より遺贈寄付は契約ではないため、もし残らなかったら、「このお話はなかったことに!」と言ってOKです。

一方で、自分の築いた大切な財産の“死蔵”リスクを考えてみると…。

2023年に発生した休眠預金が日本全体で1600億円、相続人がいないために最終的に国庫に入った財産が1015億円(10年で3倍)。参考までに、同年のUN Womenの年間予算は円換算で850億円です。ん～、モッタイナイ!

遺贈寄付ページ新装オープン

ホームページに「遺贈寄付ページ」を新装オープンしました。また「相続・不動産サポートセンター」と提携しました。新設ページはこちら↓

<https://www.unwomen-nc.jp/support/bequest/>



「遺贈寄付」とは

人生の最後に残った財産の一部を社会貢献団体に寄付すること。UN Womenを通して世界の女性や少女たちに未来の贈り物を届けることができます。自身が寄付する方法と家族が寄付する方法があります。

①「遺贈」: ご自身で遺言に書いておく方法

相続人がいない方、ご家族に全てを残す必要がない方、相続税対策をしたい方、そして何よりも長い人生の中で築いてきた大切な財産を、自分がこれまで大切に思ってきた価値あることに使ってほしい方にお勧めの方法です。亡くなった後、遺言で指定しておいた遺言執行者(家族や専門家など)が寄付します。

②「相続財産からの寄付」: ご家族が相続財産から寄付する方法

故人から寄付を託された方、故人の生前の活動を偲びたい方、相続税・所得税の減税をお考えの方、そして何よりもお亡くなりになったご両親やごきょうだいなど大切なご家族の思いを引き継ぎ、その生き方を讃えたい方にお勧めの方法です。

遺贈寄付相談窓口を設置しています。事務局までお気軽にお問い合わせください。

事務局からのお知らせと報告

■ ご寄付のお願い

世界の女性と少女を取り巻く環境の悪化に伴いUN Womenは支援活動を拡大していますが、資金不足に悩んでいます。ご寄付は税制上の優遇措置の対象になります。

ぜひホームページからお申込みください。

<https://www.unwomen-nc.jp/support/donation/>



①「国連ウィメン・マンスリーサポーター」になりませんか？

月々一定額のご寄付を続けていただくマンスリーサポーターを募集しています！

毎月のご寄付は、UN Womenが各地で継続的にプログラムを展開する上で、なくてはならないご支援です。皆様の安定的な支えにより、緊急時に迅速に、長期の支援に計画的に取り組むことが可能になります。

・ 使途について

UN Womenがその時、最優先と判断する支援に大切に使わせていただきます。（最優先指定）

・ 寄付の方法について

クレジットカードからの自動引き落としです。銀行・郵便局の口座振替をご希望の方はご自身でのお手続きが必要です。事務局までお問合せください。

・ 金額について

月々1,000円以上、千円単位で、申し込み画面の選択肢より金額をお選びいただけます。

② 今回の寄付

いつでもご自身のタイミングで、ご都合にあわせた金額でご寄付いただく方法です。

・ 使途について、最優先指定以外をご希望の場合は、メッセージ欄等でその旨お知らせください。

・ ご寄付の方法は、クレジットカード、郵便振替、銀行振込です。ホームページから簡単にご寄付いただけるクレジットカード決済（1,000円以上から）がおすすめです。

（郵便振替）

記号番号：00240-7-43928

口座名義：NPO法人国連ウィメン日本協会

（銀行振込）

ゆうちょ銀行 当座 ○二九店（ゼロニキュウ）

口座番号：0043928

口座名義：同上

■ SNSでも発信しています！

日本協会では、ホームページに加えてSNSでも、世界中の女性と少女のさまざまなストーリー、彼女たちの置かれた状況と解決すべき課題、勇気ある闘いの様子、そして、そんな彼女たちを支援するUN Womenの活動や当協会の様々なイベント、募金活動について発信しています。以下のSNSのフォローをぜひお願いします！そして、いいね、シェア、リポストなどをお願いいたします。



■ 正会員団体11団体（前回掲載以降2025.8.31現在）

（公財）アジア女性交流・研究フォーラム

NPO法人一冊の会 国際婦人年連絡会

堺市女性団体協議会 （公財）横浜市男女共同参画推進

協会 （一財）大阪男女いきいき財団 群馬婦友会

国連ウィメン日本協会多摩 全国友の会 （株）高島屋

国際ゾンタ26地区

■ 正会員個人19名（前回掲載以降2025.8.31現在）

■ 賛助会員団体13団体（前回掲載以降2025.8.31現在）

日本生活協同組合連合会政策企画部

にいがた女性会議 越谷ミズの会

（公財）佐賀県女性と生涯学習財団 （株）フジテレビジョン

国際ゾンタ姫路ゾンタクラブ （株）クロスメディア・ランゲージ

国連ウィメン日本協会北九州 （一社）大学女性協会

（株）Mar United 横浜新港倉庫（株）

国連ウィメン日本協会さくら 国連ウィメン日本協会東京

■ 賛助会員個人100名（前回掲載以降2025.8.31現在）

以上、敬称略

<認定>NPO法人国連ウィメン日本協会

事務局

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町435-1

男女共同参画センター横浜内（フォーラム）

・ TEL/FAX 045-869-6787

・ E mail unwomennihon@adagio.ocn.ne.jp

・ ホームページ <https://www.unwomen-nc.jp>

● 交通のご案内 JR・横浜市営地下鉄「戸塚駅」下車、徒歩7分

